

将来を見据えたまちづくり

目指すべき将来の市の姿を明らかにし、その実現に向けた方向性を指し示す市総合計画「NARITAみらいプラン」がスタートしました。ここでは、その概要を紹介します。

総合計画とは

市がまちづくりを進めていく上での指針となる中長期的な計画で、あらゆる計画の最上位に位置づけられます。

今回の総合計画には、「NARITAみらいプラン」という名称を付けました。この名称には、国際空港都市としての本市のイメージと、次世代に向けた未来志向の思いが込められています。

三層構造で期間は12年

「NARITAみらいプラン」は、市の将来像を描いた「基本構想」、将来像を実現するための施策を示す「基本計画」、施策を実現するための「実施計画」による三層構造となっています（下図）。

「基本構想」の期間は12年間とし、「基本計画」は4年ごとに3

期に分けることで、柔軟性と実効性を持たせました。

また、「実施計画」の期間は3年間とし、事業の見直しを毎年行うことで、より実践的な計画として適切な進捗管理がなされます。

市民と作り上げました

「NARITAみらいプラン」の策定には、約2年の期間を要しました。その過程において、総合計画審議会や市民ワークショップ、市民意識調査、パブリックコメントなど、積極的な市民参画を図りました。

市民の皆さんの意見が反映された計画となっています。

将来都市像実現のため

12年後の市の姿である「将来都市像」は、「住んでよし働いてよし訪れてよしの生涯を完結で

きる空の港まちなりた」としました。

その実現に向けて6つの「基本方向」を掲げ、さらに、16の「基本目標」、44の「基本施策」を体系付け、具体的な事業を展開していきます（7ページ）。

プランに沿って成田の魅力を向上

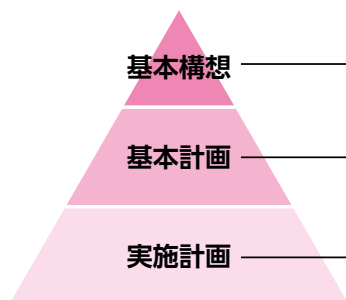
また、将来都市像の実現に当たっての「まちづくりの基本姿勢」として、次の3つを掲げています。

- 若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり
- 医療・福祉の充実したまちづくり
- 空港と共に発展するまちづくり

市では今後、「NARITAみらいプラン」に掲げた施策を実行し、市民の皆さんがずっと住み続けたいと思うまちづくりを進めていきます。

※くわしくは企画政策課（☎20・1500）へ。

総合計画「NARITAみらいプラン」の構造 ①定義 ②記載内容 ③ポイント



基本構想

- ①市政の将来像を規定
- ②将来都市像、まちづくりの基本姿勢、土地利用の基本方向など
- ③計画の実現可能性に配慮しつつも、将来のまちづくりを見据えて「夢を描く」ことが重要

基本計画

- ①施策の内容を規定
- ②全ての施策について、施策ごとの目指す姿・評価指標・主要事業など
- ③施策の実現に向け、実効性を持たせるためにも、実施計画（事務事業）との連動が重要

実施計画

- ①事務事業の内容を規定
- ②財政計画、施策ごとの主要事業の内容、年次計画など
- ③目的を明確化し実効性を持たせるために、基本計画（施策）や予算との連動が重要

